

資源管理者証明書 セットアップマニュアル

(IP アドレス管理指定事業者向け)

第 6.0 版

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

目 次

1. JPNIC プライマリルート認証局の電子証明書の入手と確認の手順	3
1.1. JPNIC プライマリルート認証局の認証局証明書について	3
1.2. JPNIC プライマリルート証明書とフィンガープリントの入手方法	3
1.2.1. JPNIC プライマリルート証明書の入手と確認	3
1.2.2. 利用規約とフィンガープリント	3
2. Microsoft Edge での設定手順	4
2.1. JPNIC プライマリルート証明書の入手と設定手順	4
2.2. JPNIC 資源管理認証局証明書の入手と設定手順	9
3. Mozilla Firefox での設定手順	15
3.1. JPNIC プライマリルート証明書の入手と設定手順	15
3.2. JPNIC 資源管理認証局証明書の入手と設定手順	19
4. IC カードリーダーのセットアップ	23
5. 資源管理カードのソフトウェアのセットアップ	25
5.1. IC カードドライバのインストール	25
5.2. PKCS #11 モジュールの導入(Mozilla Firefox をご利用の場合のみ)	29
5.3. 資源管理カードにつけた PIN の変更	32
6. お問い合わせ先	33

1. JPNIC プライマリルート認証局の電子証明書の入手と確認の手順

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(以下、当センター)では、インターネットのアドレス資源管理やネットワーク運用の安全性向上のため、認証局が運用しています。認証局とは、SSL/TLSなどで通信相手の認証などに使われる、電子証明書を発行する仕組みです。

電子証明書は、偽造することや改変することが技術的に難しいものですが、適切に利用しなければ、偽造されたものが、あたかも正しいものであるかのように表示されてしまうことがあります。例えば https を使ってアクセスしている Web サーバが、実は悪意のある別の Web サーバであっても、https の認証の結果が良好であるような表示(鍵マーク等)がされてしまうことがあります。これを防ぐためには、電子証明書を利用する前に認証局の電子証明書(以下、認証局証明書と呼びます)を適切に入手し、設定することが重要です。

ここでは、JPNIC プライマリルート認証局の認証局証明書を適切に設定する手順を説明します。

1.1. JPNIC プライマリルート認証局の認証局証明書について

JPNIC プライマリルート認証局は、資源管理者証明書を発行している「JPNIC 資源管理認証局」の認証局の上位に位置する認証局です。JPNIC プライマリルート認証局の認証局証明書は、JPNIC で運用されている認証局の認証局証明書を正しいものであるかどうかを確認するために使われます。従って JPNIC から発行されたユーザやサーバの電子証明書を検証するには、JPNIC プライマリルート認証局の証明書を「適切に」入手する必要があります。ここで言う適切さとは下記の二点を意味します。

- a. フィンガープリントが正しいこと
当センターが配布している認証局証明書のデータと同一であること
- b. 認証局証明書としての有効性
認証局証明書の有効性を確認した結果、問題がないこと

正しさが確認できていない認証局証明書を使うと、当センターから発行されていない電子証明書が、あたかも当センターから発行されたかのように表示されてしまうことがあります。これは、Web サーバのなりすましや利用者のなりすましの原因になります。

1.2. JPNIC プライマリルート証明書とフィンガープリントの入手方法

1.2.1. JPNIC プライマリルート証明書の入手と確認

認証局証明書は、JPNIC 認証局のページ:<http://jpnica.nic.ad.jp/> から入手できます。

この Web ページでは、個人情報や認証に関わる情報入力を促されることはありません。異なる場合には、本書末尾にあるご連絡先までお知らせ下さい。

1.2.2. 利用規約とフィンガープリント

当センターで別途申請者に配布している「JPNIC 認証局証明書 利用規約」をご覧ください。JPNIC 認証局証明書を利用された場合、この規約に書かれた事項に同意されたものとみなされます。

便宜上、下記の Web ページにて、本規約に記載されている「JPNIC プライマリルート認証局のフィンガープリント」を提供しています。

<https://serv.nic.ad.jp/capub/fingerprint.html>

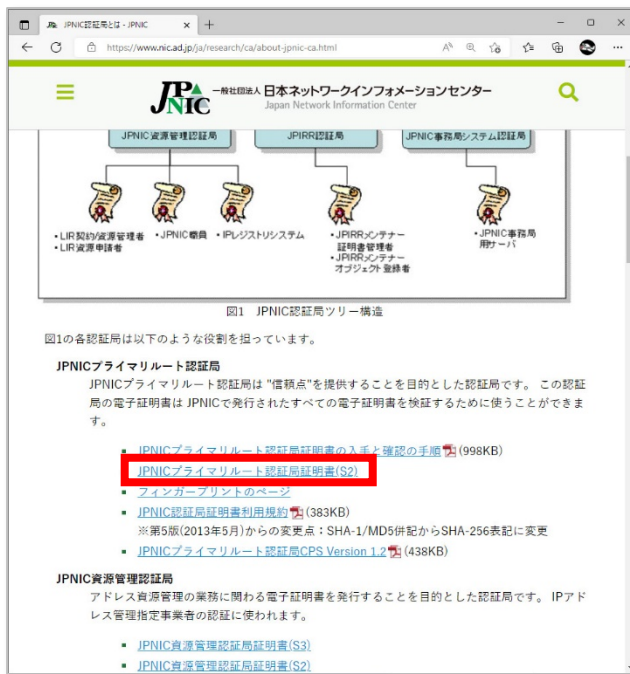
2. Microsoft Edge での設定手順

2.1. JPNIC プライマリルート証明書の入手と設定手順

1. JPNIC プライマリルート証明書を入手します。

JPNIC 認証局のページにアクセスして、「**JPNIC プライマリルート認証局証明書(S2)**」のリンクをクリックします。

JPNIC 認証局: <http://jpnica-nic.ad.jp/>

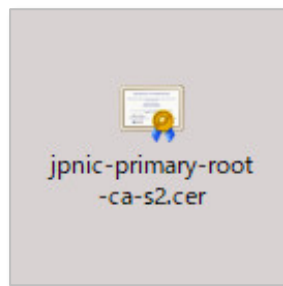


2. 「**jpnica-primary-root-ca-s2.cer**」または「**jpnica-primary-root-ca-s2**」の名前がついたファイルがダウンロードされます。



3. ダウンロードされたファイルを開きます。

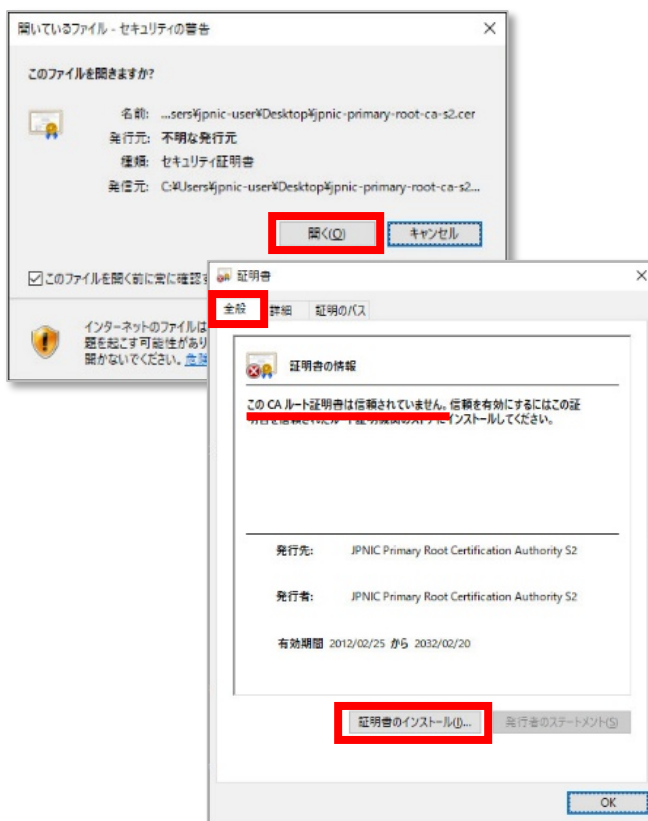
「**jpnica-primary-root-ca-s2.cer**」または「**jpnica-primary-root-ca-s2**」の名前がついたファイルを開いてください。



4. ファイルを開く際に、セキュリティの警告が表示された場合、「開く」を押して先に進みます。

「全般」のタブを選択して、「このルート証明書は信頼されていません」と表示されていることを確認してください。これは、入手した証明書が、発行先と発行者と同一になっている自己署名証明書であるためです。

内容を確認するため、「証明書のインストール」を押してください。

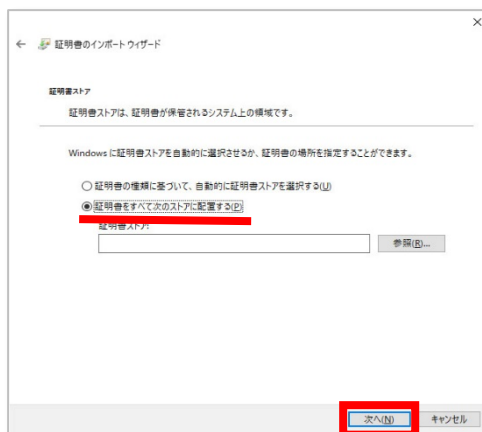


5. 証明書のインポートウィザードの画面が表示されます。

保存場所は「現在のユーザ」を選択して「次へ」を押してください。

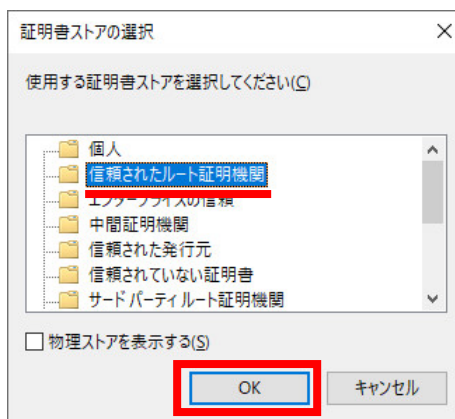


続いて表示される、証明書ストアの画面では、デフォルトで選択されている内容から「証明書をすべて次のストアに配置する」に選択を変更して、「参照」を押してください。

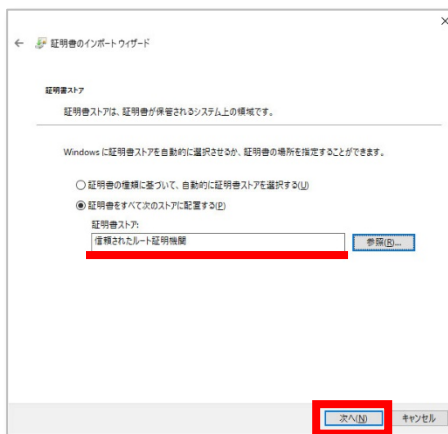


6. 証明書ストアを選択する画面が表示されます。

「**信頼されたルート証明機関**」を選択して、「**OK**」を押してください。

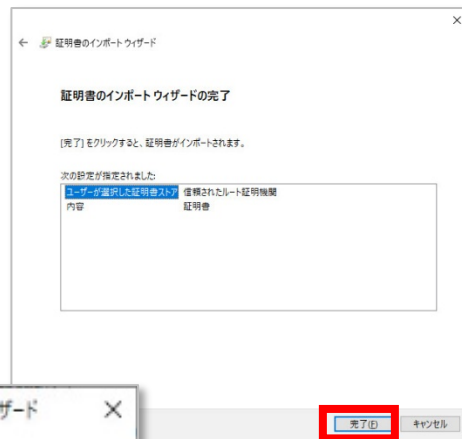


次に表示された画面で、証明書ストアの項目に、「**信頼されたルート証明機関**」の文字列が表示されていることを確認して、「**次へ**」を押してください

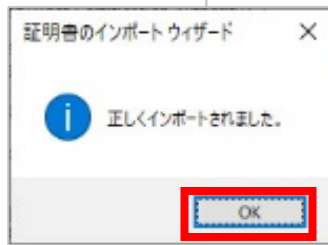


7. 証明書のインポートウィザード完了の画面が表示されます。

「**完了**」を押してください。



正しくインポートされた旨が表示されます。「**OK**」を押してください。



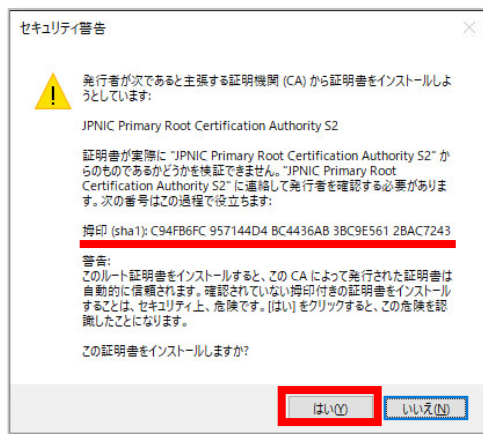
8. セキュリティ警告のダイアログボックスが表示されま
す。

これは、まだ信頼していない
証明書をインストールしようと
していることによるものです。

拇印(sha1)の値と、JPNIC 認
証局利用規約(色のついた
紙)、JPNIC NewsLetterの最
後のページなどに載せられて
いる「JPNIC プライマリルート
証明書のフィンガープリント」
の値と等しいことを確認しま
す。

確認後は、「はい」を押してく
ださい。

※この内容から、本マニュアル 3 ペー
ジ目「1.1. JPNIC プライマリルート認
証局の認証局証明書について」に記載
した、「a. フィンガープリントが正し
いこと」を確認できたことになります。



注意
証明書の拇印と JPNIC プライマリルート証明
書のフィンガープリントの値が異なる場合には証明
書の安全性を確認できません。“いいえ”ボタンを
クリックして設定作業を中止してください。

※SHA-1 により算出したフィンガープリントは、40
桁の 16 進数であり、「0」～「9」及び「A」～「F」の文
字の組合せで示されます。ただし、フィンガープリ
ントを表示するソフトウェアの種類又はバージョン
により、大文字又は小文字の相違等表示方法が
異なることがあります。

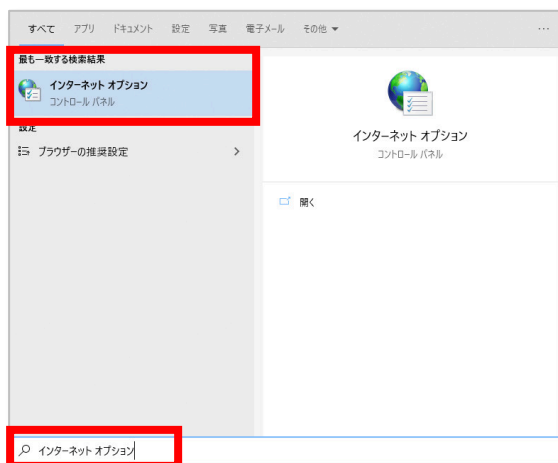
※3. の手順で保存した JPNIC プライマリルート証明書のファイルは、
確認が終われば削除して構いません。

9. デスクトップ左下に表示さ
れた Windows マークの上
で右クリックをして、「**検
索**」を選択してください。



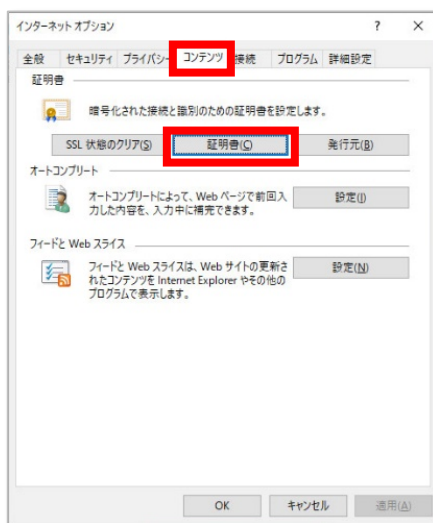
10. 検索画面が表示されます。
下部の検索窓に「インターネット オプション」と入力して検索してください。

「最も一致する検索結果」の部分に表示された「インターネット オプション」を選択してください



11. インターネットオプションの画面が表示されます。

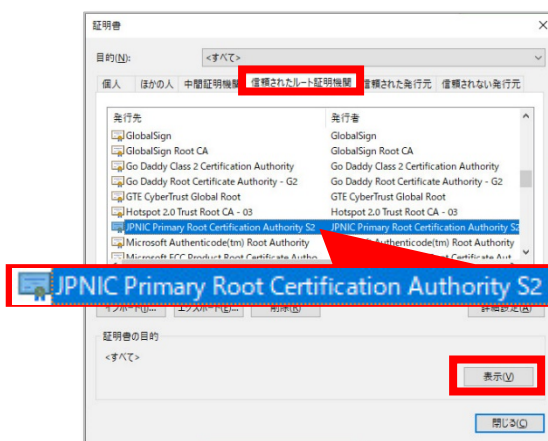
「コンテンツ」のタブを選択し、「証明書」を押してください。



12. 証明書を管理するための画面が表示されます。

「信頼されたルート証明機関」のタブを選択してください。

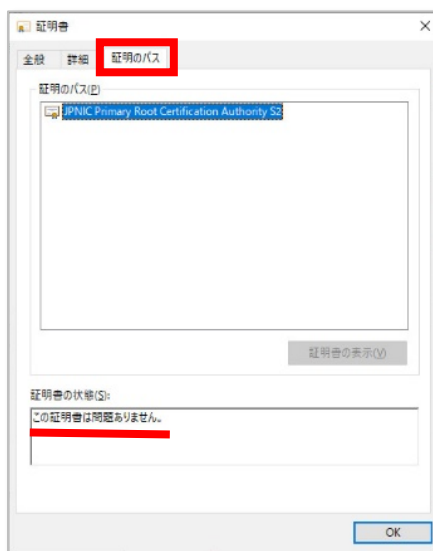
発行先の内容が「JPNIC Primary Root Certification Authority S2」となっている行を選択して、画面下部の「表示」を押してください。



13. JPNIC プライマリルート
証明書の詳細が表示されま
す。

「**証明のパス**」のタブを選択し
て、「証明書の状態」の項目
に、「この証明書は問題あり
ません。」と表示されているこ
とを確認してください。

※この内容から、本マニュアル 3 ペ
ージ目「1.1. JPNIC プライマリルート認
証局の認証局証明書について」に記載
した、「b. 認証局証明書としての有効
性」を確認できたこととなります。

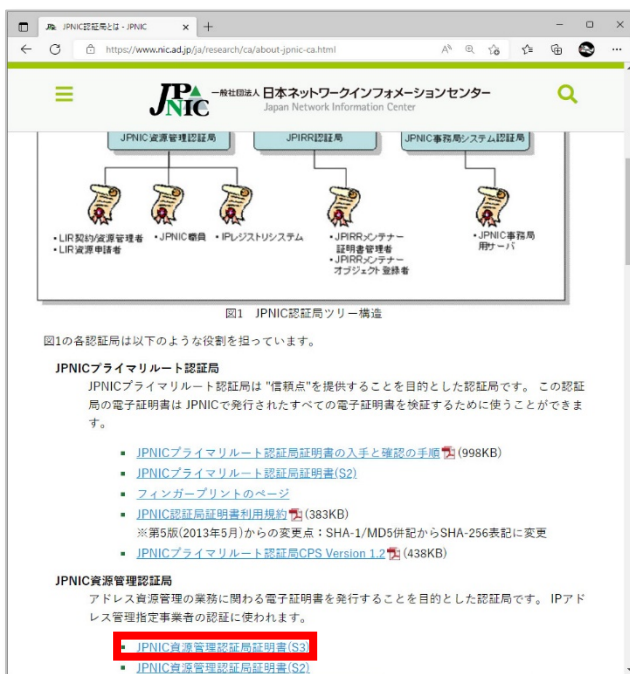


2.2. JPNIC 資源管理認証局証明書の入手と設定手順

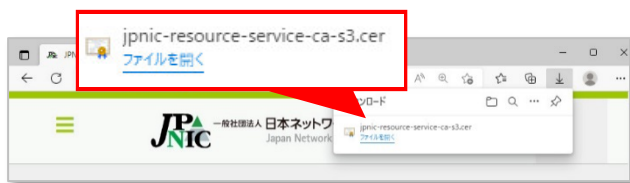
1. JPNIC 資源管理認証局証明
書を入手します。

JPNIC 認証局のページにア
クセスして、「**JPNIC 資源管
理認証局証明書(S3)**」のリン
クをクリックします。

JPNIC 認証局: <http://jpnica.nic.ad.jp/>

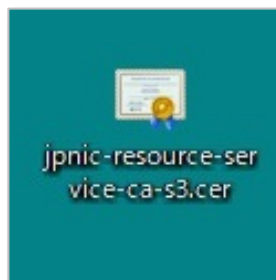


2. 「**jpnica-resource-service-
ca-s3.cer**」または「**jpnica-
resource-service-ca-s3**」
の名前がついたファイルが
ダウンロードされます。



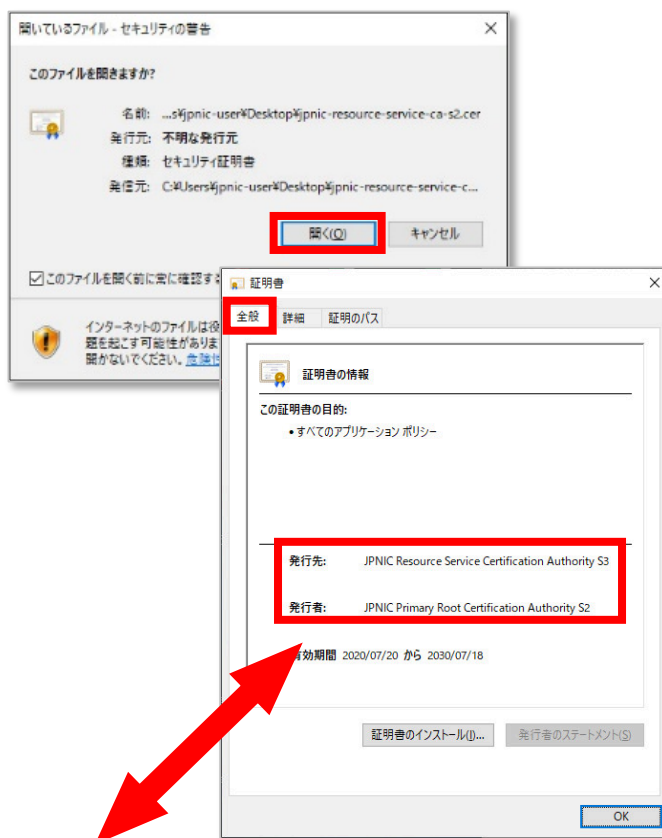
3. ダウンロードされたファイルを開きます。

「jpnic-resource-service-ca-s3.cer」または「jpnic-resource-service-ca-s3」の名前がついたファイルを開いてください。



4. ファイルを開く際に、セキュリティの警告が表示された場合、「開く」を押して先に進みます。

「全般」のタブを選択して、表示された発行先と発行者の内容を確認してください。

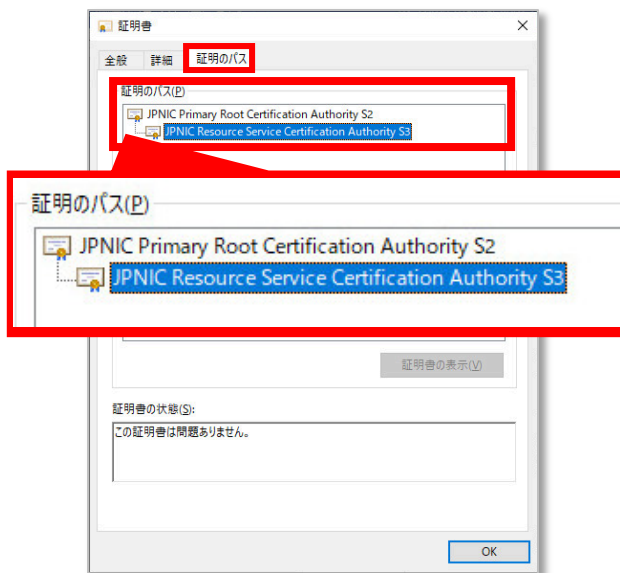


発行先：
JPNIC Resource Service Certification Authority S3

発行者：
JPNIC Primary Root Certification Authority S2

4. 「証明のパス」のタブを選択して、「証明のパス」の項目に表示された内容が、右図の赤枠内と同じであることを確認してください。

確認後、「全般」のタブを選択してください。



5. 「全般」のタブに表示された、「証明書のインストール」を押してください。

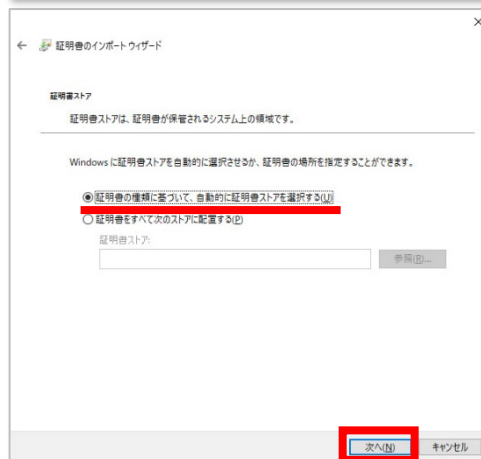


6. 証明書のインポートウィザードの画面が表示されます。

保存場所は「現在のユーザ」を選択して「次へ」を押してください。

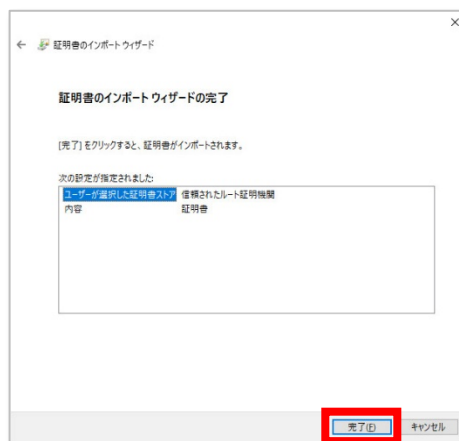


続いて表示される、証明書ストアの画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」が選択されていることを確認して、「次へ」を押してください。

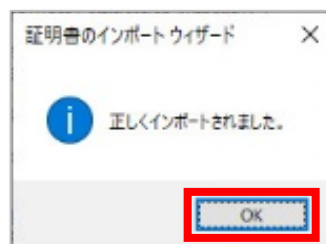


7. 証明書のインポートウィザード完了の画面が表示されます。

「完了」を押してください。



正しくインポートされた旨が表示されます。「OK」を押してください。

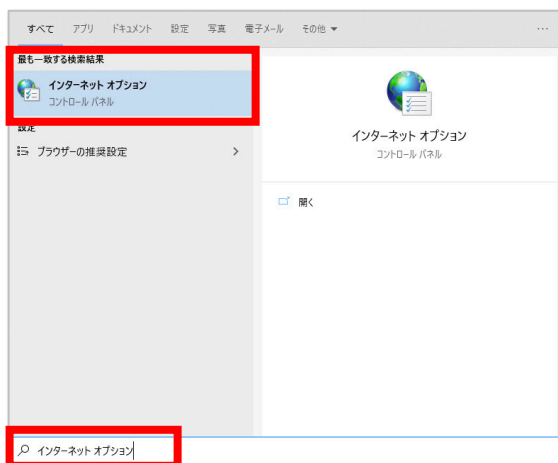


8. デスクトップ左下に表示された Windows マークの上で右クリックをして、「検索」を選択してください。



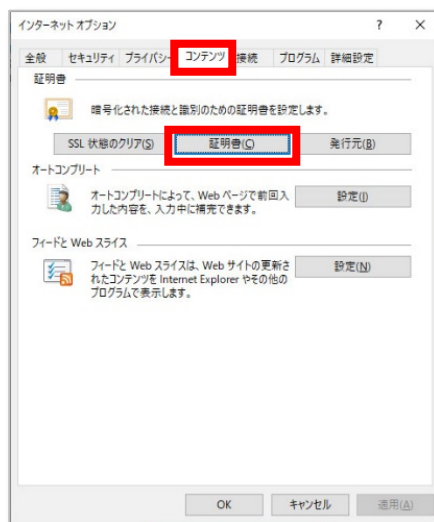
9. 検索画面が表示されます。下部の検索窓に「インターネット オプション」と入力して検索してください。

「最も一致する検索結果」の部分に表示された「インターネット オプション」を選択してください



10. インターネットオプションの画面が表示されます。

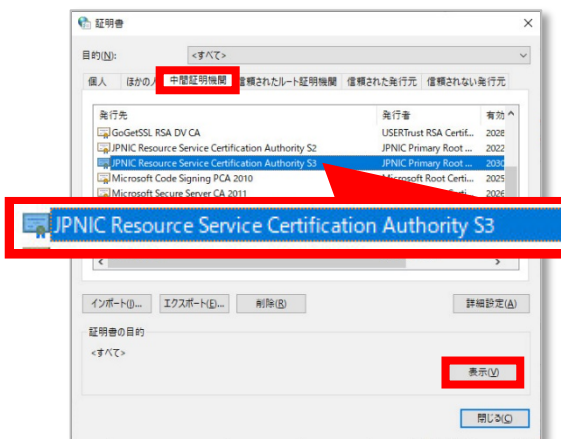
「コンテンツ」のタブを選択し、「証明書」を押してください。



11. 証明書を管理するための画面が表示されます。

「中間証明機関」のタブを選択してください。

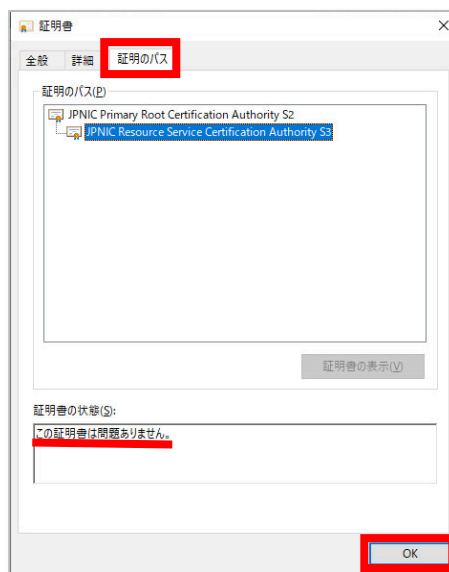
発行先の内容が「JPNIC Resource Service Certification Authority S3」となっている行を選択して、画面下部の「表示」を押してください。



12. JPNIC 資源管理認証局証明書の詳細が表示されます。

「証明のパス」のタブを選択して、「証明書の状態」の項目に、「この証明書は問題ありません。」と表示されていることを確認してください。

確認後に「OK」を押してください。



13. 「セキュリティ」のタブを選択してください。

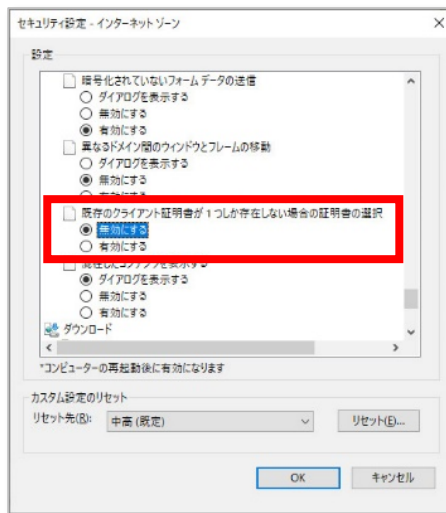
「セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。」の項目は、「インターネット」が選択されていることを確認して、「レベルのカスタマイズ」を押してください。



14. 「**セキュリティの設定**」の画面が表示されます。

「既存のクライアント証明書が一つ、または存在しない場合の証明書の選択」の項目は、「無効にする」を選択してください。

※この設定により、クライアント証明書を使う際に必ず確認のダイアログボックスが表示され、Web 申請システム以外のサーバなどに不用意に証明書を提示することを避けることができます。



3. Mozilla Firefox での設定手順

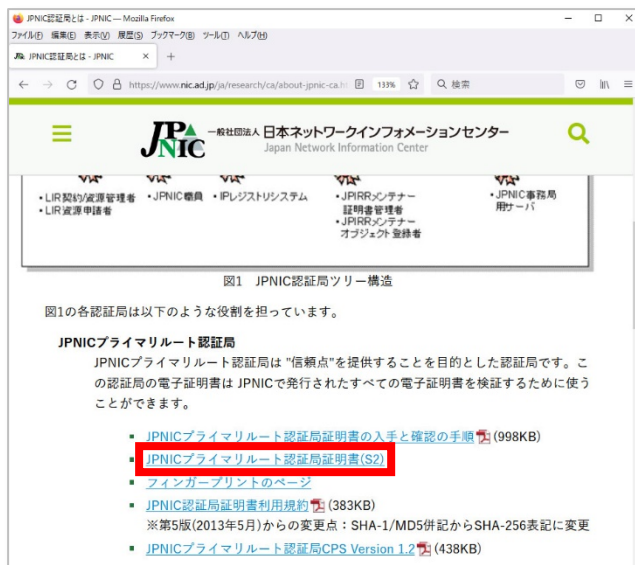
3.1. JPNIC プライマリルート証明書の入手と設定手順

※「2.1 JPNIC プライマリルート証明書の入手と設定手順」を参照して、JPNIC プライマリルート証明書を設定されたことがある場合には、以下の手順は不要です。「3.2. JPNIC 資源管理認証局証明書の入手と設定手順」に進んでください。

1. JPNIC プライマリルート証明書を入手します。

JPNIC 認証局のページにアクセスして、「**JPNIC プライマリルート認証局証明書(S2)**」のリンクをクリックします。

JPNIC 認証局: <http://jpnica.nic.ad.jp/>



2. 「jpnic-primary-root-ca-s2.cer」または「jpnic-primary-root-ca-s2」の名前が
ついたファイルが保存されます。



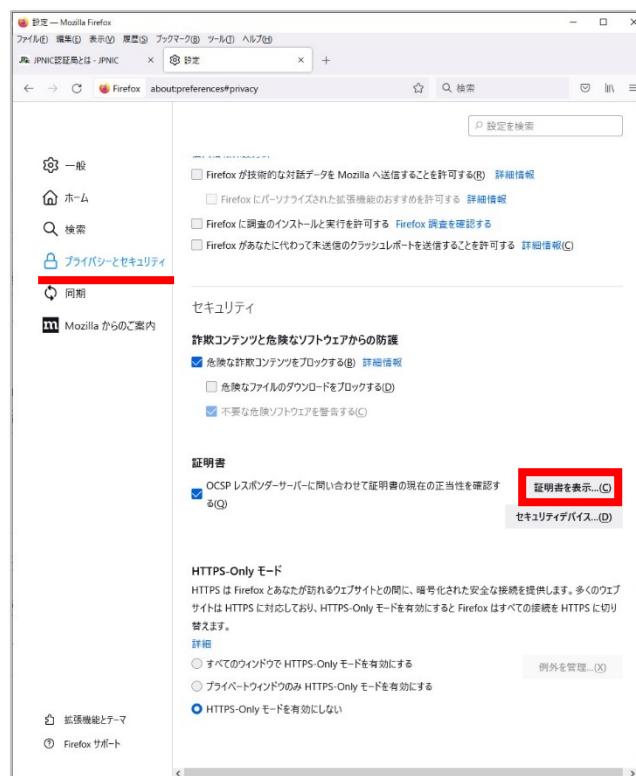
3. Firefox の画面右上にあるメニューから「設定」を選択してください。



4. 設定画面が表示されます。

画面左側に並んでいるアイコンから、「鍵のアイコン(プライバシーとセキュリティ)」を選択します。

画面右側に表示された内容を下までスクロールして、証明書の項目にある「証明書を表示」を押してください。



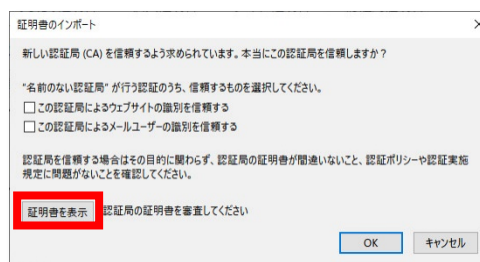
5. 証明書マネージャの画面が表示されます。
「**認証局証明書**」の項目が選択されていることを確認して、「**インポート**」のボタンを押してください。

ファイルを選択する画面が表示されますので、「**2. の手順で保存されたファイル**」を選択してください。



6. 証明書のインポートの確認画面が表示されます。

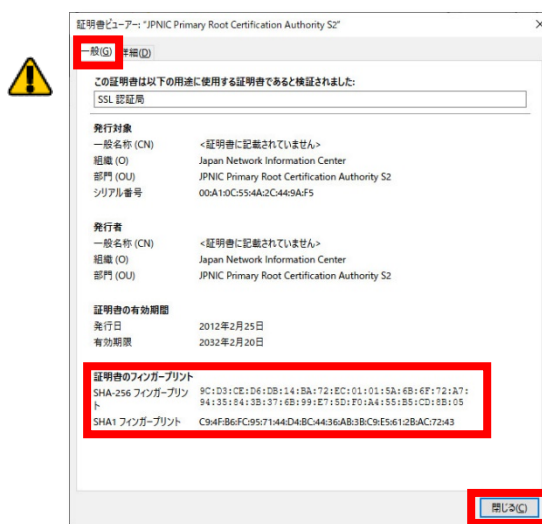
入手した証明書が正しいことを確認するために「**証明書を表示**」を押してください。



7. 証明書ビューアが表示されます。

「**一般**」のタブを選択して、SHA-256 フィンガープリントの値と、JPNIC 認証局利用規約(色のついた紙)、JPNIC Newsletter の最後のページなど「**JPNIC プライマリルート証明書のフィンガープリント**」の値と等しいことを確認します。

確認後は、「**閉じる**」を押してください。

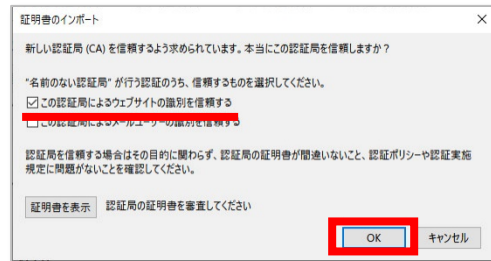


注意

証明書の拇印と JPNIC プライマリルート証明書のフィンガープリントの値が異なる場合には証明書の安全性を確認できません。
“閉じる”ボタンをクリックして設定作業を中止してください。
※SHA-256 により算出したフィンガープリントは、40 桁の 16 進数であり、「0」～「9」及び「A」～「F」の文字の組合せで示されます。ただし、フィンガープリントを表示するソフトウェアの種類又はバージョンにより、大文字又は小文字の相違等表示方法が異なることがあります。

※この内容から、本マニュアル 3 ページ目「1.1. JPNIC プライマリルート認証局の認証局証明書について」に記載した、“a. フィンガープリントが正しいこと”を確認できたこととなります。

8. 証明書のインポートの確認画面が再度表示されます。
「この認証局によるウェブサイトの識別を信頼する」を選択して、**「OK」**を押して、証明書のインポートを完了します。



9. 証明書マネージャの画面が再度表示されます。

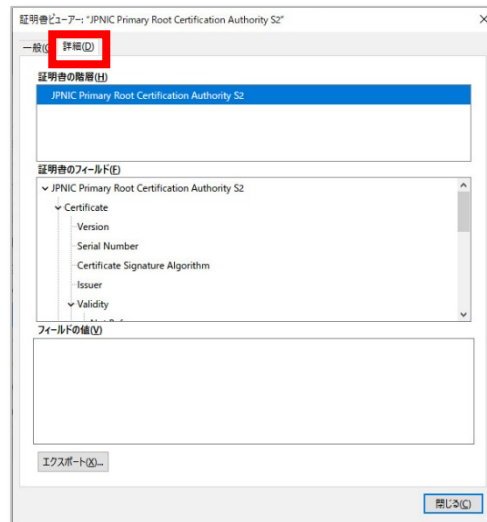
「認証局証明書」のタブを選択してください。証明書名と発行者名の内容が**「JPNIC Primary Root Certification Authority S2」**となっている行を選択して、画面下部の**「表示」**を押してください。



10. 証明書ビューアが再度表示されます。

「詳細」のタブを選択して、画面中に、警告の表示がないことを確認してください。

※この内容から、本マニュアル 3 ページ目「1.1. JPNIC プライマリルート認証局の認証局証明書について」に記載した、「b. 認証局証明書としての有効性」を確認できたこととなります。



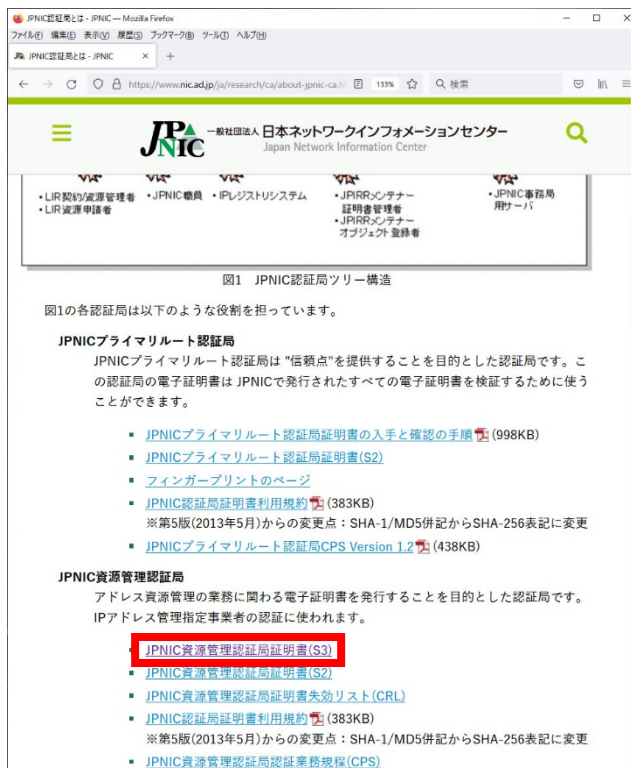
3.2. JPNIC 資源管理認証局証明書の入手と設定手順

※「2.2.JPNIC 資源管理認証局証明書の入手と設定手順」を参照して、JPNIC 資源管理認証局証明書を設定されたことがある場合には、以下の手順は不要です。「4.IC カードリーダーのセットアップ」に進んでください。

1. JPNIC 資源管理認証局証明書を入手します。

JPNIC 認証局のページにアクセスして、「**JPNIC 資源管理認証局証明書(S3)**」のリンクをクリックします。

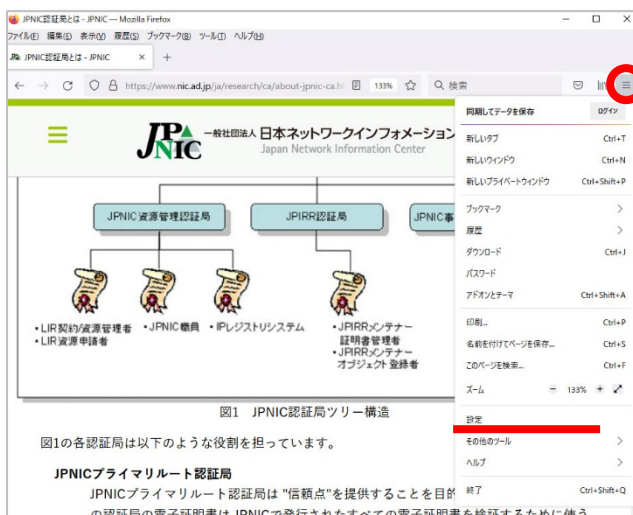
JPNIC 認証局: <http://jpnica.nic.ad.jp/>



2. 「**jpnic-resource-service-ca-s3.cer**」または「**jpnic-resource-service-ca-s3**」の名前がついたファイルが保存されます。



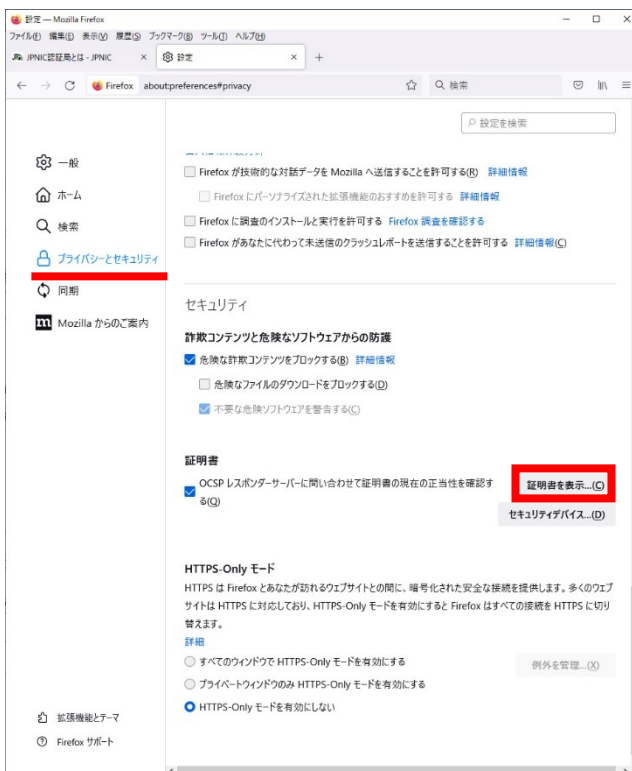
3. Firefox の画面右上にあるメニューから「設定」を選択してください。



4. 設定画面が表示されます。

画面左側に並んでいるアイコンから、「鍵のアイコン(プライバシーとセキュリティ)」を選択します。

画面右側に表示された内容を下までスクロールして、証明書の項目にある「証明書を表示」を押してください。



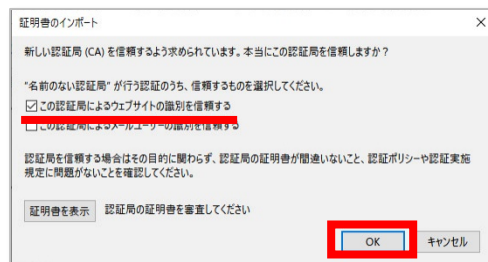
5. 証明書マネージャの画面が表示されます。
「**認証局証明書**」の項目が選択されていることを確認して、「**インポート**」のボタンを押してください。

ファイルを選択する画面が表示されますので、「2. の手順で保存されたファイル」を選択してください。



6. 証明書のインポートの確認画面が表示されます。

「**この認証局によるウェブサイトの識別を信頼する**」を選択して、「**OK**」を押して、証明書のインポートを完了します。



7. 証明書マネージャの画面が再度表示されます。

「**認証局証明書**」のタブを選択してください。

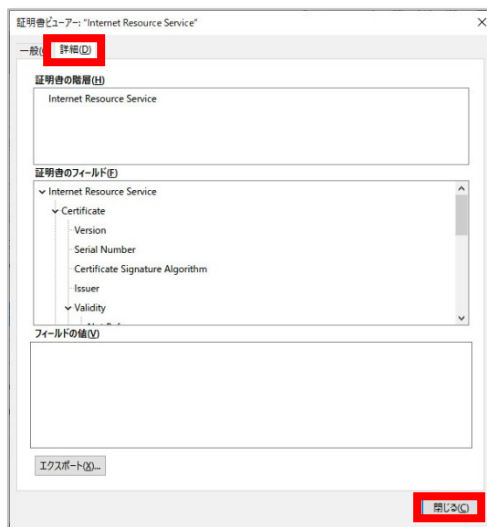
証明書名と発行者名の内容が「**Internet Resource Service**」となっている行を選択して、画面下部の「**表示**」を押してください。



8. 証明書ビューアが再度表示
されます。

「詳細」のタブを選択して、画面中に、警告の表示がないことを確認してください。

確認後、「閉じる」を押してください。また、証明書マネージャの画面も閉じてください。



4. IC カードリーダーのセットアップ

同封されている IC カードリーダーを USB ポートに接続しますと、ドライバソフトウェアが自動的にインストールされ、セットアップが完了します。

デバイスマネージャーで、「スマートカード読み取り装置」の項目に「USB Smart Card Reader」が表示されていない場合には、IC カードリーダーのドライバがインストールされていない可能性があります。以下をご参照いただきまして、ドライバの手動でのインストールをお試しください。(インストールには、管理者権限が必要となる場合があります)

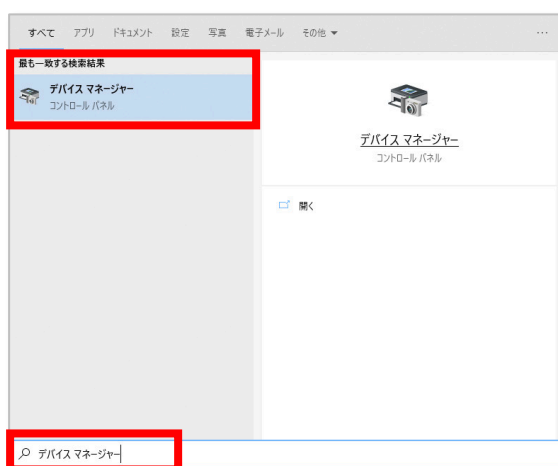
1. IC カードリーダーをご利用のパソコンに接続してください。

接続後、デスクトップ左下に表示された Windows マークの上で右クリックをして、「検索」を選択してください。



2. 検索画面が表示されます。下部の検索窓に「デバイスマネージャー」と入力して検索してください。

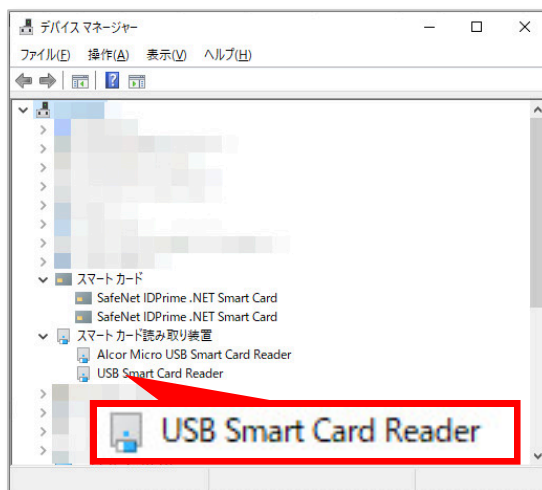
「最も一致する検索結果」の部分に表示された「デバイスマネージャー」を選択してください。



3. デバイス マネージャーの画面が表示されます。

「スマートカード読み取り装置」の部分に、「**USB Smart Card Reader**」の表示があることを確認してください。

※表示がある場合には、4.の手順は不要です。表示がない場合には、4.に進んでください。



4. 「 **USB Smart Card Reader**」の表示がない場合、ドライバの手動インストールをお願いいたします。

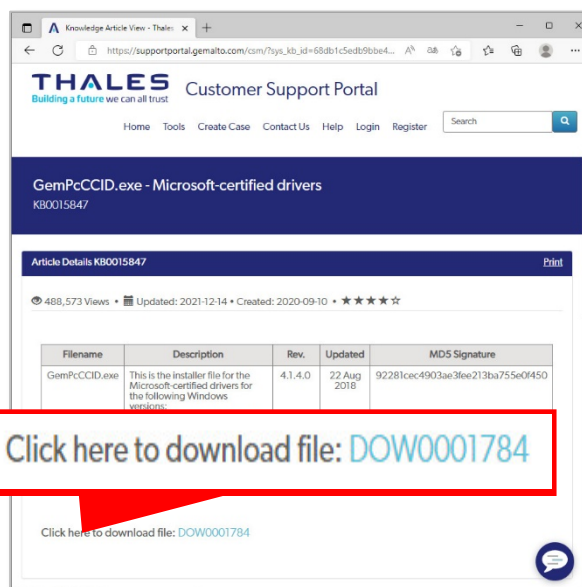
デバイスの製造元が提供するドライバをダウンロードしてご利用ください。

インストールの際に管理者権限が必要となる場合があります。

インストール完了後、1.~3.の手順で、IC カードリーダーのドライバがインストールされていることを確認してください。

Gemalto IDBridge CT30

https://supportportal.gemalto.com/csm/?sys_kb_id=68db1c5edb9bbe40d298728dae9619e9&id=kb_article_view&sysparm_rank=1&sysparm_tsqueryId=cb06680d1b1e9090f2888739cd4bcbfe&sysparm_article=KB0015847



5. 資源管理カードのソフトウェアのセットアップ

5.1. IC カードドライバのインストール

資源管理カードをご利用の際、ドライバソフトウェアが自動的にインストールされ、セットアップが完了します。

デバイスマネージャーで、「スマートカード」の項目に「**Gemalto IDPrime .NET Smart Card**」が表示されていない場合には、資源管理カードのドライバがインストールされていない可能性がございます。以下をご参照いただきまして、ドライバの手動でのインストールをお試しください。（インストールには、管理者権限が必要となる場合があります）

1. 資源管理カードを挿入した IC カードリーダーを、ご利用のパソコンに接続してください。

接続後、デスクトップ左下に表示された Windows マークの上で右クリックをして、「検索」を選択してください。



2. 検索画面が表示されます。下部の検索窓に「デバイス マネージャー」と入力して検索してください。

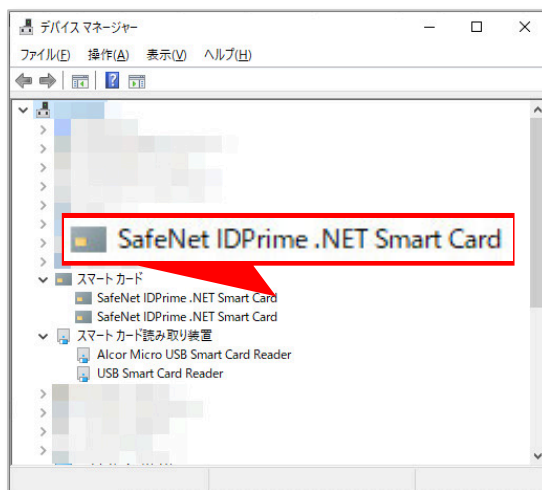
「最も一致する検索結果」の部分に表示された「デバイス マネージャー」を選択してください。



3. デバイス マネージャーの画面が表示されます。

「スマートカード」の部分に、「**Gemalto IDPrime .NET Smart Card**」の表示があることを確認してください。

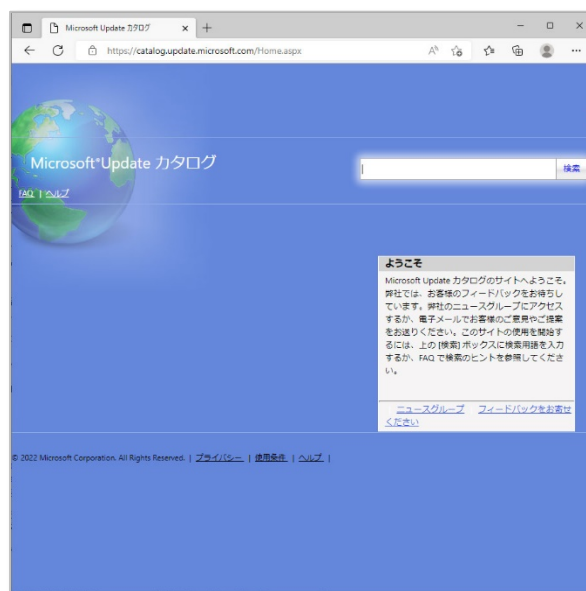
※表示がある場合には、4.以降の手順は不要です。表示がない場合には、4.に進んでください。(IC カードリーダー、資源管理カードは取り外してください)



4. Microsoft Edge(ブラウザ)を利用して、Microsoft Update カタログのページにアクセスしてください。

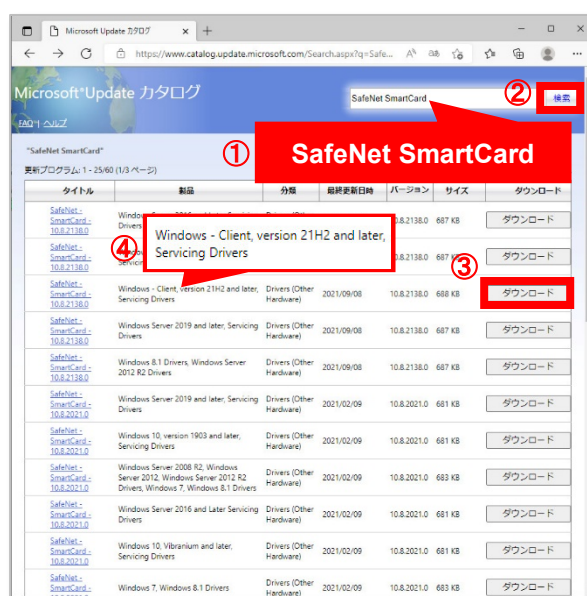
Microsoft Update カタログ

<https://catalog.update.microsoft.com/>



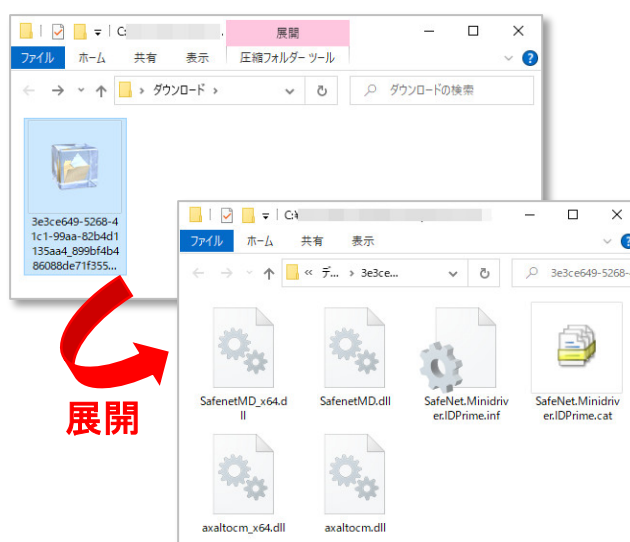
5. 画面右上の検索窓に「**SafeNet SmartCard**」入力して「**検索**」ボタンを押してください。

表示された検索結果のうち、「**製品**」欄からご利用の Windows のバージョンに合致したものをダウンロードしてください。

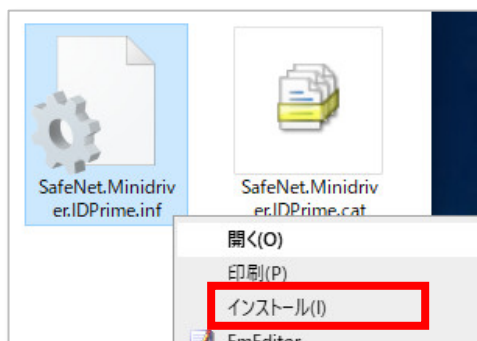


以下の URL をアドレス欄に入力することも検索可能です。
<https://www.catalog.update.microsoft.com/Search.aspx?q=SafeNet%20SmartCard>

6. ダウンロードした「**.cab**」の拡張子のファイルを展開してください。



7. 展開したファイルのうち、「**safenet.minidriver.idprime.inf**」のファイルを右クリックして「**インストール**」を選択してください。

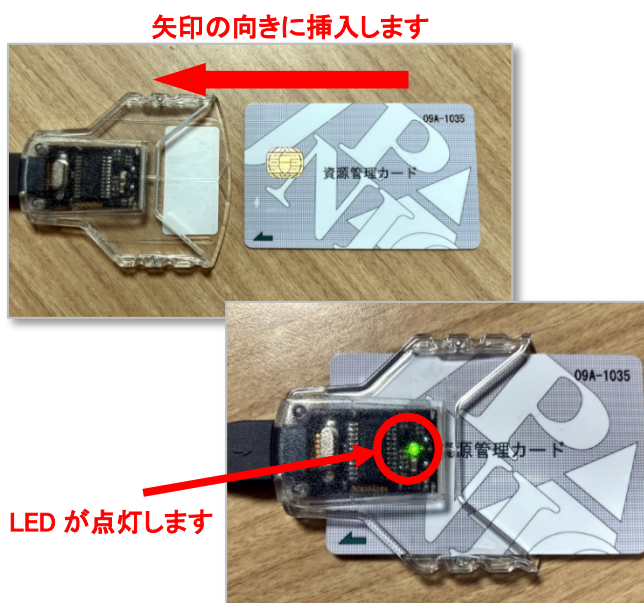


「この操作を正しく終了しました」と表示されれば、ドライバのインストールは終了です。

8. 資源管理カードのチップ部分を確認できる面を上向きにして、IC カードリーダーに挿入してください。

※ IC カードリーダーは JPNIC のシールを貼っている面が底面です。

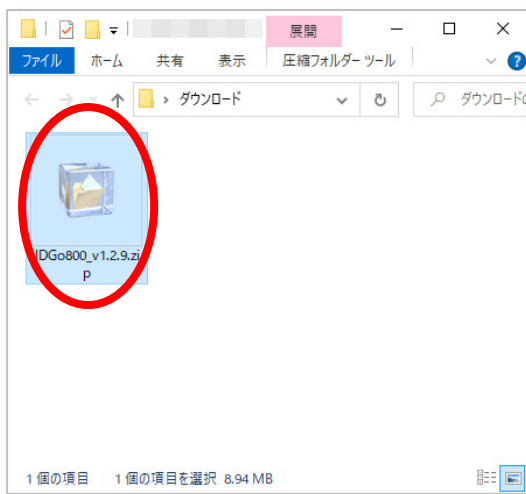
IC カードリーダーをパソコンに接続して、引き続き、1.~3.の手順で、資源管理カードのドライバがインストールされていることを確認してください。



5.2. PKCS #11 モジュールの導入(Mozilla Firefox をご利用の場合のみ)

※ライセンスの都合上、当センターWeb などでのモジュールの配布が難しいため、ご依頼に応じ配布しています。モジュールの導入が必要な場合、**ca-query@nic.ad.jp (電子証明書担当)までご連絡をお願いします**。折り返し、ダウンロードのための URL をご案内いたします。

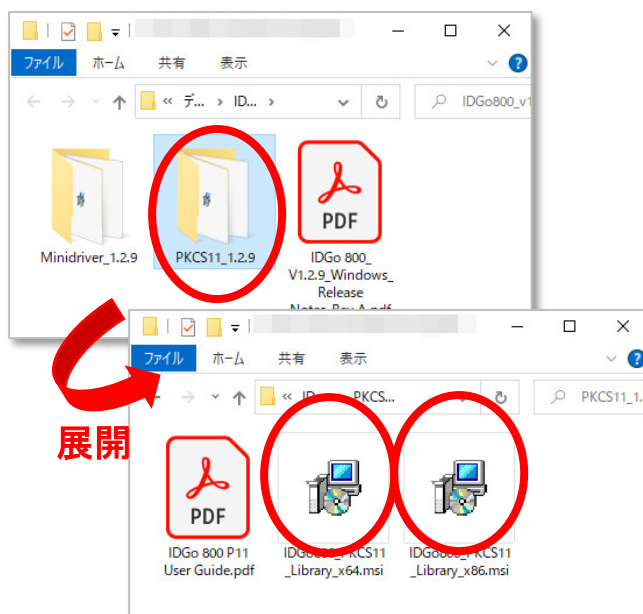
1. ダウンロードしたファイルを展開してください。



2. 展開したファイルのうち、「PKCS11 1.2.9」のフォルダにある「.msi」の拡張子のファイルをダブルクリックしてインストールします。

※インストールの際、管理者権限が必要です。

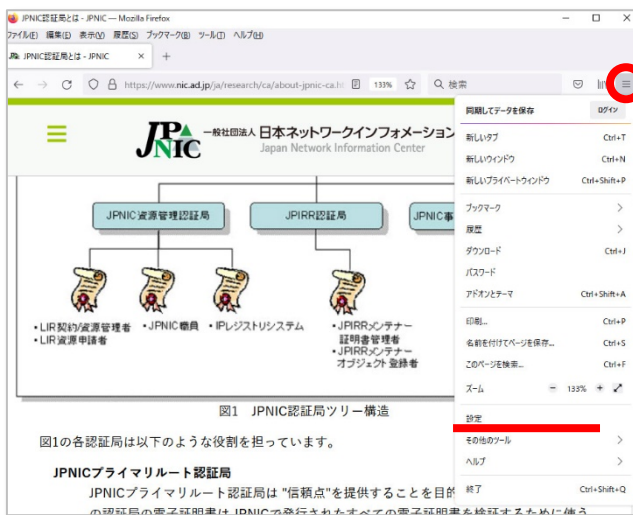
※インストールの際に「**Do you want to support multi-PIN?**」という確認画面が出た際には、「**No**」を選択してください。



64bit の場合: 「**IDGo800 PKCS11 Library x64.msi**」を選択してください。

32bit の場合: 「**IDGo800 PKCS11 Library x86.msi**」を選択してください。

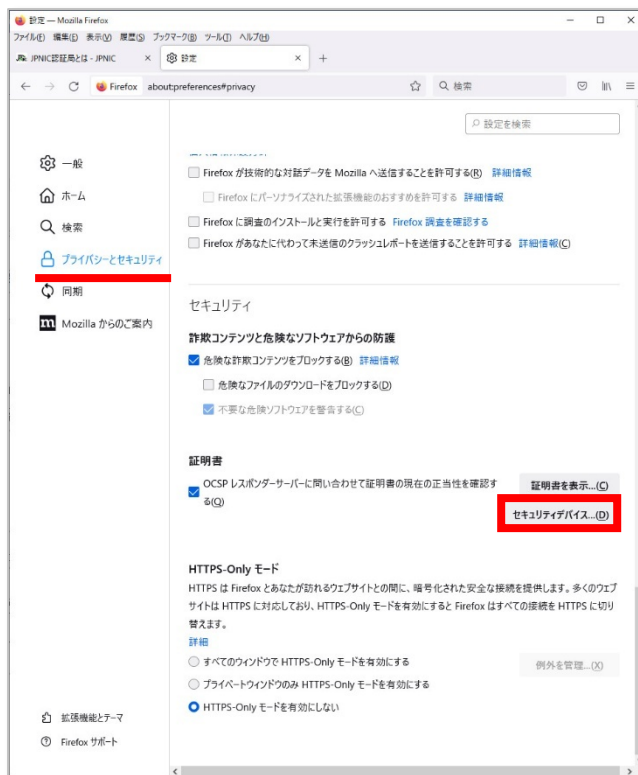
3. Firefox の画面右上にあるメニューから「設定」を選択してください。



4. 設定画面が表示されます。

画面左側に並んでいるアイコンから、「鍵のアイコン(プライバシーとセキュリティ)」を選択します。

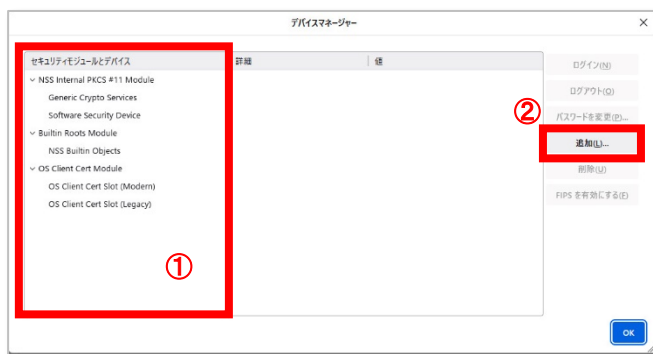
画面右側に表示された内容を下までスクロールして、証明書の項目にある「セキュリティデバイス」を押してください。



5. デバイスマネージャーの画面が表示されます。

「セキュリティモジュールとデバイス」の項目に「**Gemalto PKCS#11 module**」の表示がないことを確認してください。

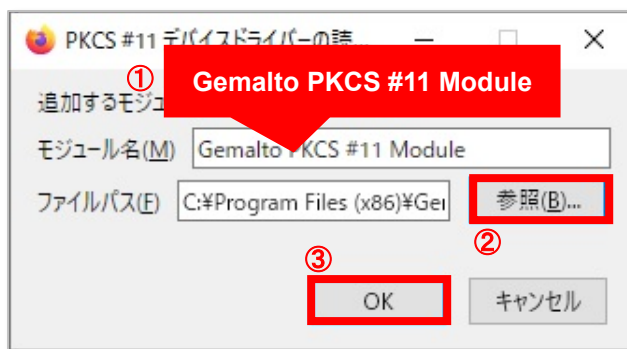
確認後、画面右側の「**追加**」を押してください。



6. 「PKCS#11 デバイスドライバの読...」の画面で、モジュール名を入力してください。

また「ファイルパス」の項目にある「**参照**」を押してください。表示されたファイルの選択画面で、2. のインストール完了後に生成された「**.dll**」の拡張子のファイルを選択します。

ファイルを選択後「**OK**」を押してください。



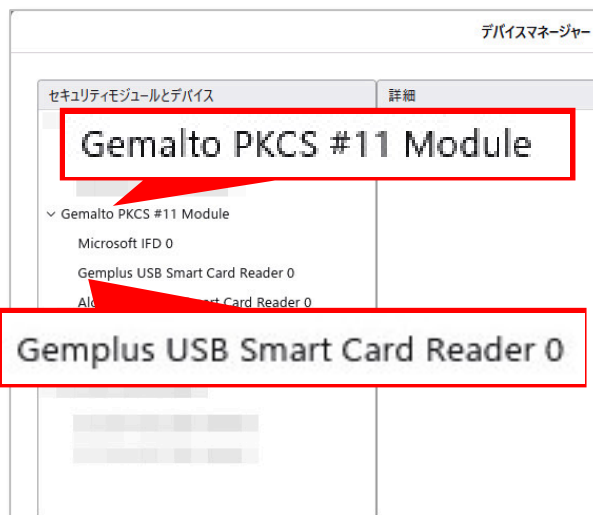
上記②では以下のファイルを指定してください。※インストール時の設定やご利用の環境によりファイルパスが異なります。

C:\ProgramFiles(x86)\Gemalto\IDGo 800PKCS#11\
IDPrimePKCS1164.dll

7. デバイスマネージャーの画面が表示されます。

「セキュリティモジュールとデバイス」の項目に「**Gemalto PKCS #11 Module**」の表示があることを確認してください。

また、この項目に「**Gemalto USB Smart Card Reader 0**」の表示があることをあわせて確認してください。表示がない場合には、Firefox の再起動をお願いします。



5.3. 資源管理カードにつけた PIN の変更

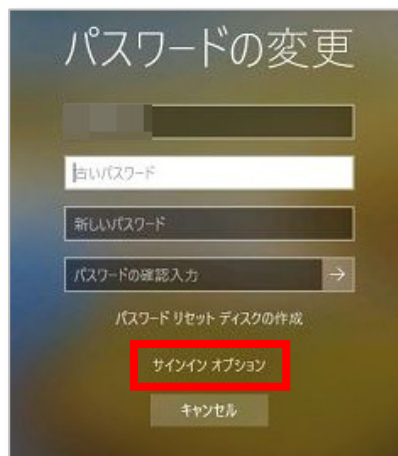
資源管理カードにつけた PIN の変更は、Windows の機能を利用して実施します。

1. キーボードの「**Ctrl キー + Alt キー + Del キー**」を同時に押します。

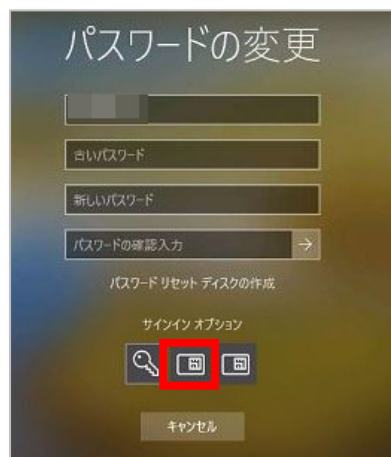
表示された画面で「**パスワードの変更**」を選択します。



2. 表示された画面で「**サインイン オプション**」を選択します。



3. 表示された画面で「**カードのアイコン**」を選択します。



4. 表示された画面に、セットアップした IC カードリーダーの名称「**Gemalto USB Smart Card Reader 0**」が表示されていることを確認してください。



5. 「**現在登録されている PIN(または初期 PIN)**」を一つ目の項目に入力します。

「**変更後の PIN**」を二つ目の項目と三つ目の項目に入力してください。

入力後、3 つ目の項目の横に表示された「**右矢印アイコン**」をクリックします。



6. 「PIN は正常に変更されました。」と表示されれば、PIN の変更は完了です。「**OK**」を押して終了してください。



6. お問い合わせ先

- プライマリルート認証局、および資源管理認証局証明書について:
ca-query@nic.ad.jp
- その他全般:
ip-service@nir.nic.ad.jp